

1 開催日時

平成29年1月6日（金）午後2時30分から

2 開催場所

会議棟第4会議室

3 出席者

教育長及び委員：真如教育長 武石委員 岩田委員 藤宮委員 新藤委員
事務局：阿部学校教育部長 岡田学校教育部参事 小俣社会教育部長
小坂橋統括指導主事 岩本学校教育課長 福嶋庶務係長

4 協議項目

- (1) 教育委員会だよりについて
- (2) 平成28年度東京都「学力向上を図るための調査」結果について

5 会議の要旨

- (1) 教育委員会だよりについて

①主な説明

- ・多摩六市教育広報戦略推進協議会からの報告を受けて教育委員会が発行している広報紙（教育委員会だより）について、内容を含め編集及び発行等の見直を行っている。
- ・直近の広報紙から字を大きくしたり視覚に訴えるように写真やイラスト等を増や読みやすい広報を心がけ少しずつ変化させてきている。
- ・学校長や保護者等に対してアンケート調査を実施し、その集計結果について報告した。
- ・来年度に向け広報紙のあり方を今後も研究していきたい。

②主な内容

- ・教育委員会だよりの文章について、縦書きと横書きを混在させることについて問題はないと思う。
- ・横書きの場合は、開き方が逆になるのではないか。
- ・写真がきれいでとても良い感じを受ける。
- ・学期に1回の発行で良いと思う。
- ・市報と原稿がダブることもあるがあえて掲載し周知することもある。

- (2) 平成28年度東京都「学力向上を図るための調査」結果について

①主な説明

- ・対象は、小学校5年生及び中学校2年生である。
- ・平成28年度の東京都学力向上を図るための調査は、7月7日（木）に実施済である。
- ・平成25年度に小学校5年生だった児童が平成28年度に中学校2年生に

なった時の学力状況の変化についてまとめた。

②主な内容

- ・先生の子どもたちへの働きかけをどうするかにより、子どもたちは変わるのではないか。
- ・どうすれば子どもが力を出せるのか、どう知恵をだすのかを考えることが大切である。
- ・学校長の考え方、アイデアを出すことがとても大事である。
- ・地域の協力、外部からの刺激も大切である。
- ・生活指導を含めた基礎基本を徹底させることも学力向上につながると思う。
- ・先生と生徒が共有して目標を持ち、徹底した指導を行っている学校は良い方向に進んでいる。
- ・効果がなかなか数字には表れない。
- ・学力について伸びてきている学校を参考にしたい。
- ・学校だけでは学力の向上は図れないと思うので、地域や家庭を巻き込むことが大切である。
- ・評価にはいろいろな方法があるので今後も工夫して評価に取り組みたい。